

令和3年度 KPI評価シート

基本目標	4 時代に合った地域の中で、安心な暮らしを守るまちづくり						
目的	彦根らしい多極的なコンパクトシティの形成など、人口減少に対応する時代に合ったまちづくり、高齢化が進行した地域においても安心して暮らすことのできるまちづくり、湖東定住自立圏形成協定に基づく取組の推進など広域連携によるまちづくりを進めていきます。						
数値目標	指標	基準値	目標値(R6年度)				
	人口(人)	113,073 (H30年度)	113,216				
各施策とその方向性	施策名	KPI名	KPI基準値	KPI目標値(R6年度)	方向性		
	(1) 彦根らしい多極的なコンパクトシティの形成	居住誘導区域内の人口密度(人/ha)	40.5	40.5	人口減少や急速な高齢化を見据え、生活に必要な都市機能をまちの各拠点に集約し、その拠点を中心として多極的にある程度の人口がまとまって居住するとともに、集約した都市機能を効果的に利用できるよう、鉄道やバスなどの公共交通を充実させるといった彦根本来の特性に合うコンパクトシティの形成を実現していきます。 また、公共交通については、公共交通事業者等と連携して、交通結節点整備、路線バス乗降環境整備および車両のバリアフリー化等を進め、利便性の向上を図っていきます。		
		路線バス年間利用者数(人)	852,792	900,000			
		予約型乗合タクシー乗合率(人/便)	1.46	1.86			
	(2) 空き家等住まい対策の推進	管理不全な空き家等および特定空家等の是正率(%)	50	64	賃貸や売却予定のない長期不在の空き家の割合が増加し、老朽化や危険性の高さから除却が求められる空き家が存在している一方で、住宅ストックがあるにもかかわらず、まちづくりでの活用や住み替えの受け皿になっていないことから、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく、「彦根市空き家等対策計画」により、空き家の利活用や除却等の対策を総合的かつ計画的に実施していきます。		
	(3) 公共施設マネジメントの確立による持続可能な施設整備・運営管理	公共建築物の総延床面積の削減率(%)	1.07	1.35	今後、市が所有する多くの公共施設等の更新時期が集中し、その更新費用が大きな負担となること、また、施設需要の変化が見込まれることなどを踏まえ、「彦根市公共施設等総合管理計画」に基づき、市民サービスに必要な機能を確保しつつ、安全・安心な公共施設マネジメントを確立していきます。		
	(4) 安全・安心な暮らしの確保	自主防災組織率(%)	74.2	77.6	地域の高齢化による担い手不足やコミュニティ意識の希薄化が進む中で、地域で安全で安心な暮らしが確保されるよう、地域における支え合いの仕組みづくりとなる地域包括ケアシステムの深化・推進を図るとともに、自らの身は自らが守る「自助」、各種市民活動や地域の主体で共に助け合う「共助」および行政が救助・支援を行う「公助」の連携により、防災・防犯対策を進めていきます。		
彦根市内犯罪率(件)～人口1万人当たりの刑法犯認知件数～		67.0	56.0				
(5) 湖東定住自立圏形成協定に基づく取組の推進	湖東定住自立圏人口(人)	156,346	155,507	彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町の1市4町で構成する湖東定住自立圏において、相互に役割分担する中で、湖東定住自立圏形成協定における取組を進め、人口流出を防ぐダム機能としての圏域機能を高めていきます。			
R3年度の評価と課題	施策名	KPI名	R3年度KPI結果	R3年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
		人口(人) 【企画課】	111,972	113,239	98.9%	(内部) ◆令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症等の影響により、自然増減数および社会増減数ともに減少しており、厳しい状況が続いています。 ◆自然増減については、出生数の減少は続いているものの、対前年比減少率は-8.2%から-2.9%に改善しました。しかし、死亡数が対前年比10%以上の大幅増となった影響により、自然増減は383人の大幅な減少となりました。 ◆社会増減については、令和元年度は転入超過でしたが、令和2年度および令和3年度は転出超過となっています。これは新型コロナウイルスの影響で経済が停滞したことにより、市内の事業所や大学に通勤・通学する人の一部が市内への転居を控えたのではないかと考えられます。 ◆自然増減数の減少幅を縮小させることおよび社会増減数を再び増加に展示させていく必要があります。 ◆出生数の減少に歯止めをかけるには、一定の時間を要すると思われることから、本市の人口の増加に向けて、特に短期的には転入超過を達成することが重要です。	(内部) ◆自然増減については、本計画および令和4年度を始期とする新しい彦根市総合計画に基づき、経済的支援を含む子育て支援策の充実や待機児童の解消に取り組むことで、さらに子育てしやすい環境を整備します。 ◆令和4年度には、新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に落ち着いてくることも見込まれるため、再び転入超過へ転じることを目指し、特に若者をターゲットとした結婚支援や市内大学生の定着支援等の定住促進策を強化するとともに、情報発信や補助金・助成金、伴走型の支援といった移住促進策を強化します。
						(外部)	(外部)

令和3年度 KPI評価シート

R3年度の評価と課題	施策名	KPI名	R3年度KPI結果	R3年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
(1) 彦根らしい多極的なコンパクトシティの形成	居住誘導区域内の人口密度(人/ha) 【都市計画課】	41.1	40.5	達成	(内部) ◆令和3年度の結果は目標値以上となりましたが、前年度からは若干減少しており、今後、人口減少傾向はさらに進むものと予測されます。特に、旧城下町区域では人口減少の傾向が続いており、課題拡大が続いています。	(内部) ◆特に旧城下町区域での空き家の利活用など、更なる居住誘導施策が必要であることから、関係課と協議のもとコンパクトシティと整合した空き家対策を検討していきます。	
					(外部)	(外部)	
					(内部) ◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響は引き続き受けているものの、前年度比約8%の増(約48千人増)となりました。	(内部) ◆湖東地域公共交通網形成計画にて計画している各施策を行い、引き続き公共交通の機能強化を図ってまいります。	
(2) 空き家等住まい対策の推進	管理不全な空家等および特定空家等の是正率(%) 【建築住宅課】	1.47	1.67	88.0%	(内部) ◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響は引き続き受けているものの、対前年度比0.02人の増となりました。	(内部) ◆湖東地域公共交通網形成計画にて計画している各施策を行い、引き続き公共交通の機能強化を図ってまいります。	
					(外部)	(外部)	
					(内部) ◆目標値を上回る是正率を達成できていますが、助言・指導の結果が改善に結び付かない空家が多数ある中、空き家所有者が抱える問題の解決に向けた取組が求められています。	(内部) ◆彦根市空家等対策計画に基づき、変動する空き家の実態を把握し、空き家の利活用に関する彦根市空家バンクの運営や空き家所有者ならびに利活用希望者に対する支援など各種施策に取り組みます。	
(3) 公共施設マネジメントの確立による持続可能な施設整備・運営管理	公共建築物の総延床面積の削減率(%) 【働き方・業務改革推進課】	1.60	1.20	達成	(内部) ◆目標数値は達成できましたが、施設の廃止・統廃合については、利用者の理解を得ることが大切であるため、公共建築物の必要性の検証による説明責任が求められています。	(内部) ◆令和2年度末を期限とし、施設の老朽化度合い、利用状況、運営方法、コスト情報、受益者負担などの分析を行い、今後のあり方を検証した上で、パブリックコメント等を通じて個別施設計画を策定しました。 ◆令和3年度は、国からの指針を踏まえ、彦根市公共施設等総合管理計画の改訂を行いました。 ◆令和4年度は、改訂した総合管理計画に基づき、基本的な方針としている施設の非保有、集約化・複合化の検討、民間活力の導入等をより具体的に推進するため、庁内横断的に検討する場を設け、公共施設マネジメントを推進していきます。	
					(外部)	(外部)	
					(外部)	(外部)	

令和3年度 KPI評価シート

R3年度の評価と課題	施策名	KPI名	R3年度KPI結果	R3年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
	(4) 安全・安心な暮らしの確保	自主防災組織率(%) 【危機管理課】	77.6	76.2	達成	(内部) ◆自主防災組織の母体となり得る自治会について、「高齢化が顕著で役員のなり手がいない」、「コロナ禍により活動が限定される」等、自主防災組織の設置が困難な自治会も多い中、防災出前講座や自治会長合同説明会(資料配布、動画配信)等において設置促進を行った結果、令和3年度には新たに2つの自治会で自主防災組織を設置されました。	(内部) ◆今後も引き続き、広報紙や防災出前講座等を通じて防災意識の醸成および「共助」の重要性を説明しながら、自主防災組織未設置の自治会等に対する周知啓発を行います。(小規模自治会等、単独での設置が困難な自治会に対しては、複数の自治会が合同で自主防災会を設置する手法も周知啓発します) ◆自主防災組織結成に必要な規約作成などの支援等フォローの実施、補助制度の周知を行います。
						(外部)	(外部)
		彦根市内犯罪率(件) ～人口1万人当たりの刑法犯認知件数～ 【まちづくり推進課】	42.8	62.6	達成	(内部) ◆前年より減少していますが、今後も犯罪を抑制するため、警察等関係機関と連携し、各地域での様々な安全活動を推進します。	(内部) ◆防犯灯・防犯カメラの設置および設置補助、各種防犯講習会や教室の開催支援、防犯情報の発信、青色パトロール車によるパトロールなどを実施します。
						(外部)	(外部) ◆防犯カメラの設置について、今後も個人のプライバシーを守りながら事業を実施してください。
	(5) 湖東定住自立圏形成協定に基づく取組の推進	湖東定住自立圏1市4町の人口(人) 【企画課】	154,879	155,737	99.4%	(内部) ◆圏域人口については、前年と比較し、全市町で人口が減少となり、令和3年度KPIの目標値を下回る結果となりました。 ◆本市においては、出生数が減少したこともありますが、死亡者数が例年と比較し100名程度増加し、自然増減の減少幅が大きくなるとともに、社会増減数においても転出超過となっています。新型コロナウイルス感染症が経済に及ぼした影響も大きく、製造業が多く立地する本市では、景気後退の影響を受け転出者が増加した可能性が考えられます。 ◆人口減少を抑制するため、出生数の増加と転入者数の増加に資する取組が求められています。	(内部) ◆人口減少に歯止めをかけるべく、本市では、引き続きまち・ひと・しごと創生総合戦略で位置付けられている施策を実施するとともに、1市4町で協力して定住自立圏の事業を推進し、圏域全体の生活機能と魅力の向上を図ることで、本市の魅力向上にもつなげていきます。
						(外部)	(外部)